



ゆうすい

嘉島西小学校 学校便り
令和5年9月4日
文責：校長 江上 知男

「子どもの生きる力を高める」委員会活動です！



話し合い(ボランティア委員会)

嘉島西小学校では、「委員会活動」という時間があります(保護者の皆さんが小学生の頃もあつたはず…)。委員会活動は、「子どもたちにとって学校生活がより楽しく、より充実したものになるよう学校内の仕事を分担し、課題に自治的に取り組んでいくための活動」です。

学校によっては、「先生たちのお手伝い」となってしまうこともあるのですが、本校の活動は、「自分たちの考えを活かして、アイデアを出し合いながら活動している！」と感じています。その手立てが、各委員会から提案される「企画書」です。子どもたちは、課題に「気付き」、どうすれば解決できるかを「考え」て企画書にまとめ、全学級に提案して「行動」していきます。そして、うまくいかなかったら、再び修正した「企画書」につなげていきます。

私は、このような取組を積み重ねることによって、子どもたちに自然と「課題を解決する方法」が身に付き、「将来に生きて働く力」になるのではないかと考えています。それは、どんなにAIの時代になろうとも、「人間が課題を解決するプロセスは変わらない」と考えているからです。

令和5年度 運営委員会提案

取組名	あいさつの木		
取組の理由	あいさつが上手な人を増やすため。		
期間	9月 4日 9月 22日	月曜日～ 金曜日まで	
方法	各階に木を9月4日から9月8日まであいつの木を、 ておた 9月18～22日まで太陽の広場にはります。 太陽の広場にはいる間、運営委員会がいいと思 たのを放送します。		



工事中の歩道橋

登下校について指導しています！

2学期が始まり、地域の皆さんには「登下校の見守り」をしていただいておりますことに、心から感謝いたします。連日、「残暑」とはとても言えないくらい暑いですが、どうかご自愛いただきますよう、心からお願い申し上げます。

さて、毎朝の登校の様子を見えています。相変わらず「危険」と感じるのですが、一方で「登校班長さんたちのリーダーシップ」も感じています。特に、学校東側の

地区では、歩道橋工事に伴い、通学路の変更を余儀なくされていますが、班長さんが班員に気を遣いながら歩いてくれているので、安心して見ていられます。とても嬉しい気持ちになっています。ただ、各学級では次のように指導しています。

- ① 交差点で待つとき、車や自転車とぶつからないように、「歩道の一番後ろで待つ」こと
- ② 横断歩道を渡るとき、車が急いでいることを予想して、「点滅信号では渡らない」こと
- ③ 登下校は、遠くからでも目立つように、「黄色等の安全帽子をかぶる」こと
- ④ 登校後は、慌てて事故の可能性が高まるため、「忘れ物を取りに帰らない」こと

嘉島西小学校区の道路は、「歩道であっても危険がいっぱい」です。各ご家庭でも、登下校の安全に関して「親子の話題」にしていただいて、ぜひ「行動すること」につなげて欲しいものです。